

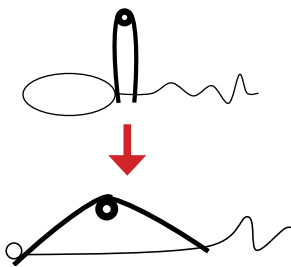
# くくりわな編 ①. わなの種類

くくりわなはバネの種類、作動方式の組み合わせで、様々な種類があります。いろいろと試してみて、自分が使いやすいものを選択しましょう。

## バネの種類

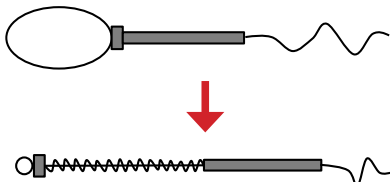
### 【松葉式バネ】

曲げたバネが解放されワイヤーを締める。バネの力が強く、締め上げスピードが速いが、跳ね返りが危険なので取り扱いに注意が必要。



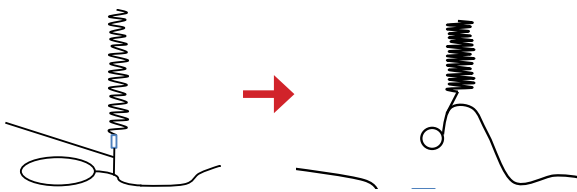
### 【押しバネ】

パイプ内に圧縮したバネが伸びる力でワイヤーを締める。小型・軽量で持ち運びやすい。誤作動によるバネの飛び出しに注意が必要。



### 【引きバネ】

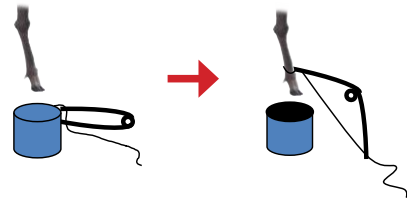
引き延ばしたバネが縮まる力でワイヤーが締まる。立木の枝からバネを伸ばすので、他の方式のバネより設置条件が限定される。



## 作動方式

### 【踏み込み式（筒型）】

踏み込んだ際に内筒の外縁にかけたワイヤーがはずれて作動する。



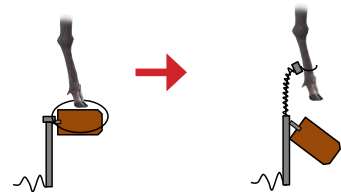
### 【踏み込み式（跳ね上げ型）】

踏み込んだ際に踏み板の外枠が上に稼動し、ワイヤーを跳ね上げる。



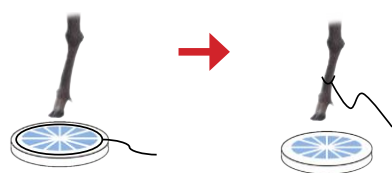
### 【ジャンプ式】

踏み込んだ際にパイプのトリガーがはずれ、押しバネが垂直に伸びる。



### 【その他】

足の抜けにくい枠に踏み込ませ、動物の逃げる力でワイヤーを締める。

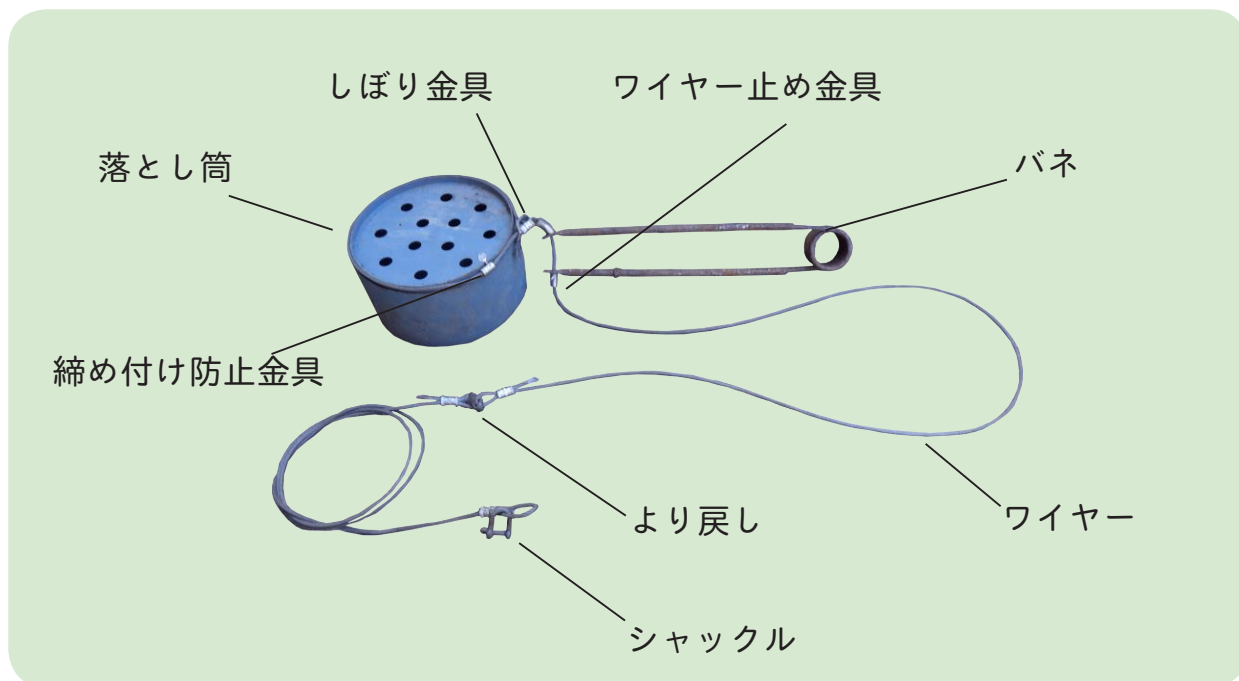


**注意** くくりわなに使用されているバネはいずれも非常に強力なものです。設置作業中のバネの跳ね返りには十分注意してください。また、バネのロック機構の点検はこまめに行ってください。

## くくりわな編 ② . 法規制について

くくりわなは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護管理法）により、定められている規格があります。所持しているわなが、法的に使用してもよいものか確認しましょう。

### 各部品の名称（松葉式バネの場合）



### 使用が禁止されているくくりわな

許可捕獲（有害鳥獣捕獲、個体数調整）では、規制が緩和される場合があります。詳しくは管轄の地域振興事務所等へお問合せください。

イノシシ ・ ニホンジカ	次の要件に一つでも該当するもの 1. 輪の直径が12cm <sup>*</sup> を超えるもの 2. 締め付け防止金具が装着されていないもの 3. よりもどしが装着されていないもの 4. ワイヤーの直径が4mm未満であるもの
上記以外の 獣種	次の要件に一つでも該当するもの 1. 輪の直径が12cm <sup>*</sup> を超えるもの 2. 締め付け防止金具が装着されていないもの

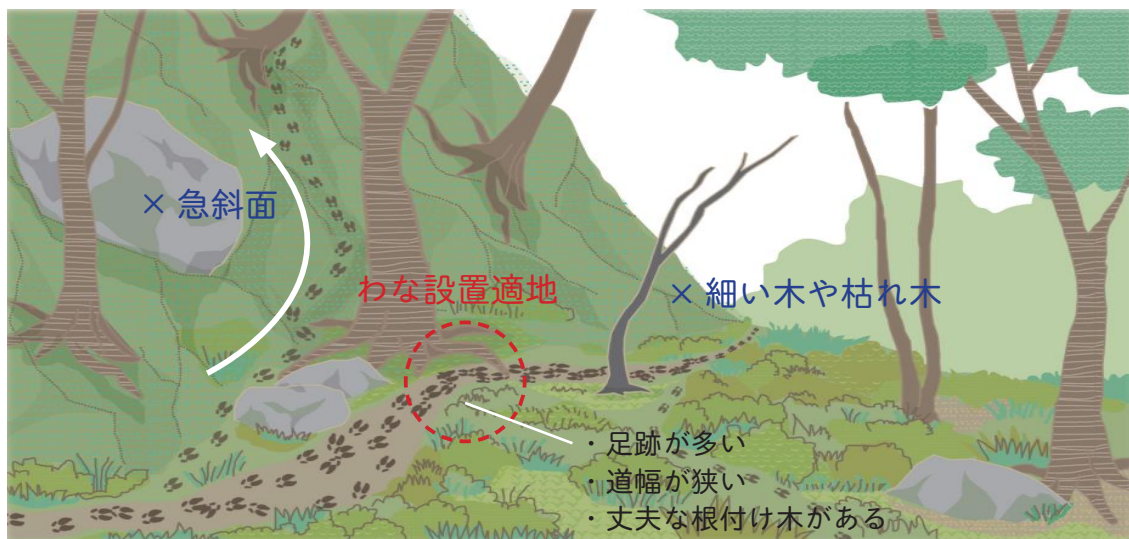
※長径に直角に交わる短径が12cm以内であればよい。

## くくりわな編 ③ . 場所の選定

くくりわなによる捕獲成功のカギは、場所の選定にあるといっても過言ではありません。捕獲したい動物が頻繁に利用する獣道に、わなを設置した方がよいのはもちろんですが、その他にも重要なポイントがありますのでご紹介します。

### 選定のポイント！

- 【 獣道の幅 】 獣道は幅が広いと踏む場所が絞れないので、障害物等で狭くなっている道の方がよい。
- 【 獣道の斜度 】 急斜面では動物の歩幅が一定ではなく踏み場所が絞りづらいうえ、降雨時にわなが露出しやすいので、緩傾斜の道の方がよい。
- 【 痕跡の多さ 】 足跡等痕跡の多い獣道は、動物が頻繁に利用しているので、わなを踏む確率が高い。
- 【 根付け木 】 わなのワイヤーを固定する木（根付け木）は、動物が暴れても折れないよう、細い木や枯れ木を避け、丈夫な生木を選ぶ。



### 獣道があっても設置を避けた方がよい場合

利用者の少ない登山道や林業の作業道は、イノシシ・ニホンジカが利用し、濃い獣道となっている場合がありますが、人が通る可能性のある場所にはわなは設置しないようにしましょう。



## くくりわな編 ④ . 装備

くくりわなは動物に気づかれないように設置する必要があるため、装備にも気を使う必要があります。具体的には、においが残りにくい恰好をすること、作業を短時間で終わらせるような道具をそろえることが重要です。以下に紹介する装備を参考にしてください。

### 【くくりわな猟の基本装備】

#### 【工具 ①】

ラジオペンチ：わなの補修やシャックルを締める際に用いる。

ニッパー：わな設置の際に土中の細かな根を切断するのに用いる。



#### 【シャベル】

わなを設置する穴を掘る。根を断ち切れる剣先のものがよい。

#### 【長靴】

登山靴や地下足袋より足のおいが土に残りにくいいため、わな設置作業に適している。

#### 【服装】

なるべく肌を露出しない格好が望ましい。特に下半身はズボンにしみついたにおいをつけないため、雨具を着用するのがよい。

#### 【手袋】

汗のしみやすい軍手などは避け、ゴム手袋や革手袋を着用する。

#### 【工具 ②】

根掘り：シャベルより細かい掘削作業を行う。

木槌：設置場所の細工時に枝を打ち込むのに用いる。

ノコギリ：穴の掘削時にできた根の切断に用いる。





# くくりわな編 ⑤ . 設置の手順

## 1. 設置する獣道を選ぶ

P12 の場所の選定のポイントに合致する獣道を探します。探索中や見回りのときには獣道の上を歩かないようにしましょう。



## 2. 設置する場所を決める

設置作業に入る前に、わな本体、バネ、ワイヤー、根付け木の位置を想定します。作業する場所を決めたら、なるべく定位置で作業し、必要以上に地面を荒らさないようにしましょう。



## 3. 穴を掘る

シャベル等で穴を掘ります。土は埋め戻しに使うのでまとめておきましょう。また、掘る土は最小限にとどめましょう。根が出てきた場合はシャベルやニッパー、鋸等で切断します。





# くくりわな編 ⑤ . 設置の手順

## 4 . 木にワイヤーを結ぶ

根付け木にワイヤーを結びつけます。生木の幹もしくは太い根を選びます。シャックルはペンチを使用して固く締めましょう。



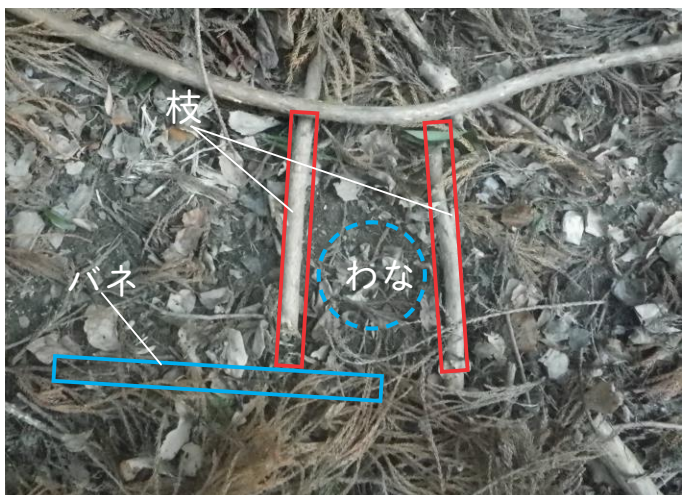
## 5 . 埋め戻す

穴を掘った際に出た土でわなを埋め戻します。獣道と設置面の高さは自然に整えましょう。バネ、ワイヤーも同様に隠しましょう。



## 6 . 細工・仕上げ

わなをより確実に踏ませるために、シカ・イノシシがまたぐ太さの枝を置いて、足をつく位置を限定させることも効果的です。このほか、倒木や石、木の根等で足の踏み場が限定されている場所を探して設置することも効果的です。最後に、土や落ち葉などをかけて獣道を復元します。



## くくりわな編 ⑥ . 捕獲成功のためのコツ

動物に気づかれないようにくくりわなを踏ませるには、獣道選びと上手なカモフラージュが必要不可欠ですが、さらに捕獲の成功率を上げるために、以下の点に注意してください。

### においを残さない意識を持とう！

見た目にはわながきちんと隠れていても、においでバレてしまうという事はよくあります。とりわけ皮脂や汗は、様々なものに付着し、人のにおいを残してしまうことを心得ましょう。以下の点には特に細心の注意を払ってください。

- ・ 設置中はもちろん、自宅での保管時も わなは素手でさわらない。
- ・ 設置中、むやみに 周囲の木等を素手で触らない。 低木や草にも体を触れない。
- ・ 汗を地面に 落とさない。 手で拭わない。
- ・ 設置場所周辺を 踏み荒らさない。



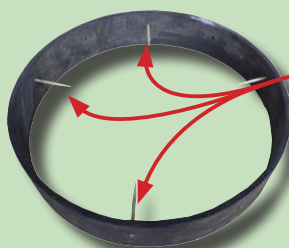
### 仕掛けが作動する重さを調節しよう！

くくりわなは作動する重さの調整が捕獲成功のカギのひとつです。軽すぎれば浅い踏み込みで作動するため空はじきしやすくなりますし、中型哺乳類の錯誤捕獲の確率も高くなります。また、逆に重すぎれば、踏ませたのに作動しないということもあります。どれくらいの荷重で作動させるかは経験を積んで微調整していくほかありません。以下は一般的なくくりわなの荷重調整機構です。

落とし筒の縁にかけるワイヤーの位置で落ちる重さを調節する。縁に浅くかけるほど軽い重さで作動するようになる。



ねじの締め具合で作動する重さを調節する。ねじを緩くするほど軽い重さで作動するようになる。



踏み板を乗せる筒に穴が開いており、そこにつまようじを刺す。踏み板が落ちる重さをつまようじの本数で調節する。



## くくりわな編 ⑥ . 捕獲成功のためのコツ

### 1 箇所複数のわなを設置する！

獣道が多数あり、設置場所を絞れないとき等で、わなの数に余裕があれば、複数のわなを設置することで捕獲できる確率があがります。なお、捕獲に成功した場合、捕獲個体が暴れることによる環境の改変等の影響で、他の獲物が警戒してしばらくはその場所に近寄らなくなるので、設置したわなを含め、周辺のわなも移設するようにしましょう。



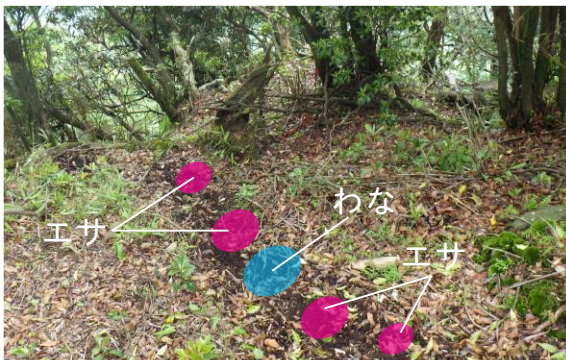
獣道が縦横に枝分かれする場合、設置場所を絞りにくい。



捕獲個体が動ける範囲の環境は、掘り起こし等で大きく改変される。

### わな設置場所にエサで誘引する！

くくりわなも箱わなのように、エサで誘引して動物を捕獲することができます。具体的には、獣道上にエサを撒いて、わな設置場所まで誘引する方法と、エサ台を設置して、そこに誘導した動物をくくりわなで捕獲する方法があります。誘引に日数がかかる場合がありますが、餌付いた動物は警戒心が薄れているので、高い確率で捕獲を成功させることができます。



獣道上でのエサによる誘引



倒木を利用したエサ台



## くくりわな編 ⑦. 見回りのポイント

くくりわな設置後は、毎日見回りをしてください。特に、大雨や強風のあとにわな設置場所が荒れていて不具合がある場合は、ひとつひとつチェックして直してください。以下に、見回り時にチェックすべきポイントをご紹介します。

### 🔍 見回り時のチェックポイント！

- ・空はじきしていないか
- ・土が流れてわなが露出していないか
- ・雨でわなの可動域の下に砂等がつまっていないか
- ・不必要な枝や落ち葉がわなの上にかぶっていないか
- ・イノシシやアナグマに掘り返されていないか
- ・動物が通った跡があるか  
(わなの上を通っているか、避けられているか)



### ? 動物がかからないときは…

長期間設置しているのに、捕獲できない場合は、移設を検討しましょう。以下に、主に移設すべきと判断される状況を示しました。1ヵ月後にかかることもあるので、移設の判断は難しいところですが、参考にしてみてください。

#### 移設した方がよい場合

##### 【警戒されている・ばれている】

- ・わなが作動したが逃げられた
- ・わなを避けて足跡がある
- ・わなを掘り返された

##### 【獣道が使われていない】

- ・何日も変化がない
- ・別の道に新しい足跡がある

このほか、自分のわなの近くに他の猟師がかけたわなを見つけた場合、巻き狩り等の銃猟が実施されている場合は、トラブルを避けるためにも移設を検討しましょう。

## くくりわな編 ⑧ . わなの補修

使用したわなの各 부품の点検は必須であり、少しでも異常のある部品は必ず補修もしくは交換する必要があります。特に、一度獲物がかかったわなのワイヤーは、見かけ上異常がなくとも、金属疲労等で劣化している可能性があるため、注意しましょう。

### 【ワイヤーの交換】

劣化したワイヤーの交換には、新しいワイヤーのほかに、スエージャー、スリーブが必要です。古いワイヤーを切断しなくてはならないので、スエージャーはワイヤーカッターの機能がついているものを選ぶことをおすすめします。



### 【交換の手順（ワイヤーの端処理）】

① ワイヤーで輪を作り、スリーブに通す。



② スリーブをスエージャーで加締める。



③ 完成後、古いワイヤーと取り換える。



### 【その他部品のメンテナンス】

しぼり金具もワイヤーと同様に劣化しやすい部品です。しぼり金具はわな作動時にワイヤーとこすれて摩耗したり、捕獲個体があばれて変形します。しぼり金具が機能していない状態でわなを使用すると、捕獲個体逃走のリスクが高まりますので、事前に動作チェックをし、必要であれば交換してください。



バネは自分で補修することが難しいので、故障時はメーカーに修理依頼するか、バネを新しく購入し交換するとよいでしょう。未使用時に圧縮したままだとバネが弱るので、保管時は解放状態にしておきましょう。

